

第 10 回

熊本県議会

# 決算特別委員会会議記録

平成22年12月 8 日

(平成21年度決算)

(決算の認否、報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

## 第 10 回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

平成22年12月8日(水曜日)

午後 2 時12分開議

午後 2 時20分閉会

本日の会議に付した事件

### 1 決算の認否について

第17号 平成21年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

第18号 平成21年度熊本県農業改良資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第19号 平成21年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第20号 平成21年度熊本県母子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第21号 平成21年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

第22号 平成21年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第23号 平成21年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第24号 平成21年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第25号 平成21年度熊本県用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第26号 平成21年度熊本県育英資金貸与基金特別会計歳入歳出決算の認定について

第27号 平成21年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第28号 平成21年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定につ

いて

第29号 平成21年度熊本県市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第30号 平成21年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第31号 平成21年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

第32号 平成21年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

第33号 平成21年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

第34号 平成21年度熊本県病院事業会計決算の認定について

第35号 平成21年度熊本県電気事業会計決算の認定について

第36号 平成21年度熊本県工業用水道事業会計決算の認定について

第37号 平成21年度熊本県有料駐車場事業会計決算の認定について

### 2 委員長報告案について

出席委員(10人)

委員長 馬場 成志

副委員長 溝口 幸治

委員 村上 寅美

委員 鬼海洋 一

委員 中原 隆博

委員 大西 一史

委員 九谷 弘一

委員 内野 幸喜

委員 高木 健次

委員 増永 慎一郎

欠席委員（1人）

委員 児玉文雄

委員外議員（なし）

説明のため出席した者

知事公室

知事公室長 安倍康雄

秘書課長 向井康彦

総務部

部長 松山正明

首席総務審議員兼

人事課長 豊田祐一

財政課長 小林弘史

企画振興部

部長 坂本基

企画課長 坂本浩

健康福祉部

部長 森枝敏郎

健康福祉政策課長 吉田勝也

環境生活部

部長 駒崎照雄

首席環境生活審議員兼

環境政策課長 野田正広

商工観光労働部

部長 中川芳昭

商工政策課長 田中信行

農林水産部

部長 廣田大作

首席農林水産審議員兼

農林水産政策課長 白濱良一

土木部

部長 戸塚誠司

首席土木審議員兼

監理課長 古里政信

出納局

会計管理者兼出納局長 富永安昭

企業局

企業局長 川口弘幸

次長兼総務経営課長 黒田祐市

病院局

病院事業管理者 横田 堅

総務経営課長 大谷 祐次

教育委員会

教育長 山本 隆生

教育政策課長 松永 正男

警察本部

本部長 中尾 克彦

参事官兼会計課長 緒方 博文

人事委員会事務局

局長 松見 辰彦

首席総務審議員兼

総務課長 佐藤 幸男

監査委員事務局

首席監査審議員兼

監査監 柳田 幸子

労働委員会事務局

局長 坂田 憲久

審査調整課長 吉富 寛

議会事務局

局長 井川 正明

次長兼総務課長 高橋 雄二

出納局職員出席者

首席会計審議員兼

会計課長 田上 勲

監査委員・同事務局職員出席者

監査委員 角田 岩男

局長 林田 直志

監査監 山中 和彦

事務局職員出席者

議事課課長補佐 堀田 宗作

議事課参事 小池 二郎

午後2時12分開議

○馬場成志委員長 それでは、ただいまから、第10回決算特別委員会を開会いたします。

初めに、お手元に配付しております「平成

22年9月定例会決算特別委員会 付託議案目録」に記載の議案第17号から第37号までの認定についてお諮りをいたします。

議案第17号外20件を一括して採決したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○馬場成志委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第17号外20件を一括して採決します。

議案第17号外20件を原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○馬場成志委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第17号外20件を原案のとおり認定することに決定いたしました。

以上で決算の認定を終わります。

これより、委員長報告(案)についてお諮りをいたします。

ただいま認定を受けました内容に沿って委員長報告案を作成しておりますので、事務局に配付させます。

（報告案配付）

○馬場成志委員長 配付漏れはありませんか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○馬場成志委員長 章立てにつきましては、前回の第9回委員会でお諮りしたとおりでございます。

第3及び第4につきましては、前回の第9回の委員会で整理しておりますが、委員から出された意見を踏まえ、一部手直しをしております。

手直しの内容は、3ページと6ページ、アンダーラインでお示ししております。

まず、3ページでは、今回の審査結果を次年度の予算等に十分反映させるよう要望を加筆しております。

6ページでは、個人県民税の滞納について「滞納額や滞納件数の」と、具体的に表現を直しております。

また、指摘のありました第3の歳入確保と予算執行の出だしの部分の表現につきましては、このままでお願いをしたいというふうに思います。

また、警察本部の交通標識の事故の件については、共通の1に含まれるということで整理しておりますので、よろございますでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○馬場成志委員長 それでは、委員長報告は、この案のとおりでよろございますかね。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○馬場成志委員長 それでは、そのように取り計らいます。

これで本委員会の審議はすべて終了いたしました。

ここで、執行部を代表して、富永会計管理者にごあいさつをお願いします。

○富永会計管理者 執行部を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます。

平成21年度の決算認定につきましては、去る9月の定例会県議会に御提案申し上げまして以来、当委員会を10回開催いただき御審議の上、本日、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算につきまして認定との御決定をいただき、まことにありがとうございます。

この間、馬場委員長、溝口副委員長、それから委員の皆様方には、大変御多忙の中にもかかわらず熱心な御審議をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

委員長報告では「施策推進上改善または検討を要する事項等」の中で、集中審議をしていただきました収入未済の解消についてを初め、共通事項3項目、各部局別に15項目、計18項目について御指摘をいただきました。また、各部局の審議の過程で種々適切な御指導、御指摘をいただきました。

私どもといたしましては、これらの御指摘、御指導のありました事柄につきまして十

分留意しまして、適切な予算執行を図り、効率的、効果的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。特に、収入未済の解消につきましては、各部局の連携をさらに密にいたしまして、全庁を挙げて取り組んでまいります。

委員の皆様方におかれましては、今後ともよろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

○山本教育長 おくれまして大変申しわけございませんでした。

○馬場成志委員長 無事認定をされましたので御報告しておきます。

それでは、閉会に当たりまして、私からも一言ごあいさつを申し上げます。

閉会に当たりまして、本日まで——本日は第10回でございますが、10回の委員会を開催してきたわけですが、溝口副委員長の御助力を賜りながら、委員の皆様には、集中審議も含めて、終始熱心な御審議をいただき、また、執行部においても、審議に御協力をいただき、本日を迎えることができましたことを、お礼申し上げさせていただきますというふうに思います。

県の財政はいまだ危機的な状況にあり、待ったなしの立て直しが求められています。国の行財政改革や長引く円高等の影響もありまして、県内の経済状況も依然厳しく、歳入等の大幅な増加は見込めない状況にあります。

こうした中で、私も強い危機感を持って委員会に臨んだわけですが、残念ながら、これまでの決算委員会の指摘について十分な対応がなされていなかったり、また、質問と答弁が一部かみ合わない場面もあり、緊張感に欠けた部分もあったのではないかとこのように思っております。

日ごろ、県政推進のため御努力いただいているわけですので、今後、こうした指摘のないように、所管事務事業の現状や今後の見通しについては十分把握していただいて、的確な答弁をされますようお願いをさせていただきますというふうに思います。

県政運営は、厳しい財政状況の中、景気浮揚や雇用問題、水俣病被害者救済や荒瀬ダムの撤去問題等、早急に対応すべき課題が増大しております。

今委員会では、歳入の面で収入未済など債権管理の問題が大きく取り上げられ、集中審議を行って、その改善を求めました。また、予算の執行については、限られた財源をより効果的に活用するよう、今まで以上に知恵を絞り、組織内の連携を図って取り組んでいただきたいと思った次第であります。

委員会としても、おおむね30項目以上の中から幾つかの指摘をさせていただきましたが、委員長報告の文面に出てこない意見やほかの要望も含め、対応していただくようお願いするとともに、議会としてもできる限り支援してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、御協力いただきました皆様方には心から感謝を申し上げます。簡単でございますが、ごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして第10回決算特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後2時20分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

決算特別委員会委員長